

現有社員適性検査【通常バージョン】 会社用1/2

CUBIC 個人特性分析

個人詳細

2013/01/30

営業部

一般

大阪 三郎

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	容観性	思考的思慮深い			63
活動型	身体性	機敏な・気軽な			71
	気分性	感情のまま行動			47
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			69
	規則性	常識的・順法的			51
積極型	競争性	勝気な・積極的			38
	自尊心	気くらいが高い			41
自制型	慎重性	見通しをつける			57
	弱気さ	取越苦労・遠慮			33

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「思索・容観性」であるが、「活動・身体性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「思索・容観性」の人のパーソナリティスケッチ
 どちらかといえば、性格的な派手さはなく地味なほうだといえる。一度はじめたことは時間が経っても途中で投げ出すことはなく、持続させていくことができる。努力を信条としていて、自分が納得いくまで取り組まない気がすまない性分であり、何事も徹底的に追求しようとする。そして、自分なりに確たる信念や社会観念を持っているのだが、規則や秩序に対して頑固にこだわるというほどではない。発想は堅苦しいものばかりではなく、ユニークさも持ちあわせていて、独自の価値観のもとで自発的、自主的な組立をして考え判断する。また、思い立ったらすぐ実行に務めるという身軽さより、物事は自分の納得がいくまでじっくりと考えてから行動する。決して自交関係もほとんどにあり、考えていて、豊かな内面性をもっている。

●もう一方の性格特性
 精神的には安定していて、不安感・イライラした感じは見られず、行動や発言にはしがるべき自分なりの理由をもっている。暗い影のようなものがなく、明るい。

どういう性格なのか、改めて確認してみましょう。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			52
容観・科学型			47
社会・経済型			42
心理・情緒型			40
審美・芸術型			62

人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところが多くなるとなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			52
協調性			61
責任感			71
自己信頼性			53
指導性			56
共感性			63
感情安定性			61
従順性			52
自主性			44
モットー傾向			30

仲間に協力的であり、共通の目標に向かうことができる。任された仕事や役割を理解し、意見に責任を持っている。

皆の意見や考えを大切に、協同作業などは熱心である。比較的気持ちが安定していて、多少の事では動揺しない。

今の環境や生活、生き方などに自信をもち安定している。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成欲求			60
自律欲求			46
認知欲求			51
危機耐性			76
勤労欲求			61
顕示欲求			44
支配欲求			44
親和欲求			44
秩序欲求			44
物質的欲望			44

困難な目標や難しい事に挑戦し、達成に向けて努力する。

全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。

社会性や意欲・ヤル気の項目は環境や努力によって変化します。

■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「増やしたい・減らしたくない」系統の欲求群となっている。逆に「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

現有社員適性検査【通常バージョン】 会社用2/2

CUBIC 個人特性分析

診断分析

2014/04/16

営業部 一般 大阪 三郎

【仕事に立ち向かう姿勢】

01: 積極性
02: 責任感
03: 自主性
04: 達成意欲
05: 勤労意欲

【心理要素イメージ】

眉の太さ: 指導性 眉の傾き: 従順性
 瞳の直径: 達成欲求 目の傾き: 達成欲求 + 求知欲求
 鼻の高さ: 顕示欲求 口の形状: 親和欲求 + 協調性
 顔の輪郭: 性格類型

逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	67
(2) 海外など精神力の必要な職務	6
(3) 足腰のよさが武器になる職務	58
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	63
(5) 標準化された仕事や工場労働	73

【組織だって仕事を進める能力】

01: 指導性
02: 協調性
03: 共感性
04: 親和性

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」

「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果D】配置適性1

《適性の高い順》

- 「適切」基礎研究管理者
- 「適切」基礎研究者
- 「適切」人事管理者
- 「適切」秘書専任者
- 「適切」企画専任者
- 「適切」営繕専任者

《低い順》

- 「適切」研究開発者
- 「適切」研究管理者
- 「適切」営業専任者
- 「適切」広報専任者
- 「適切」企画管理者

【判定結果E】配置適性2

(1) 「最適」庶務	(1) 「適度」顧客開発
(2) 「最適」物流	(2) 「適度」購買
(3) 「最適」営業アシスト	(3) 「適度」研究開発
(4) 「最適」広報	(4) 「適切」営業（積極型?）
(5) 「最適」総務	(5) 「適切」経営企画
(6) 「最適」秘書	

【改善部分や教育の優先順位が分かります。】

【どのような職務に向いているのか、外勤型か内勤型か、などを表します。】

(6) 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

高 ↑ ↓ 低

標準的なモデル ■…本人 □…他人 の比較

← 低 CUBICの成績 → 高

自己分析シート 本人フィードバック用1/2

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ	■■■■■		38
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ		■■■■■	63
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ		■■■■■	61
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ	■■■■■		47
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ		■■■■■	69
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ	■■■■■		51
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向	■■■■■		38
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向	■■■■■		41
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向	■■■■■		57
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向	■■■■■		33

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「思索・客観性」であるが、「活動・身体性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「思索・客観性」の人のパーソナリティスケッチ
 努力を信条とし、自分が納得できるまでやり通す、徹底性を持った人物です。一度始めたことは時間が経っても途中で投げ出すことはなく、持続させていくことができます。派手なパフォーマンスはなくても、落ち着いた、安心できる人物といえそうです。自分なりの確たる信念や常識的な社会通念を持ち備えています。規則や秩序に対して頑固にこだわるというほどではありません。発想も堅苦しいものばかりではなく、ユニークさも持ち合わせていて、独自の価値観のもとで、自発的で自主的な取り組みをし、判断します。何事も思いついたらすぐ実行という身軽さよりも、納得できる筋道の通った考え方を大切にします。というものの、自分の世界に閉じこもった暗さはなく、社会性も持ち合わせています。自分なりに社会的アンテナを張っていて、交友関係も様々です。考え方も現実的で、自分を深く内省していて、豊かな内面性を感じられます。客観的なもの見方ができ、正確な状況把握が期待できます。

自己分析シートは通常バージョンストレス耐性バージョン共通です

自己分析シートは、診断結果を見た個人が自分の可能性を伸ばしていくことを目的としているため表現をやわらかくし、より理解しやすい内容となっています。

2 一般的な場面での社会性

社会性の側面	弱	強	指数
積極性・活発度	■■■■■		52
周囲との協調性		■■■■■	61
責任感・一貫性		■■■■■	71
自分への信頼度	■■■■■		53
指導・指示傾向	■■■■■		56
仲間との共感性		■■■■■	63
感情の安定度合		■■■■■	61
他者への従順性	■■■■■		52
自ら進んで実行	■■■■■		44
社会的自我確立		■■■■■	70

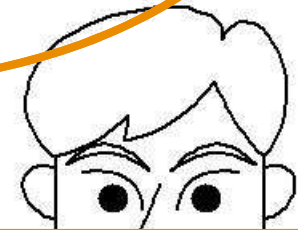
●「責任感・一貫性」について
 責任感・一貫性とは、引き受けた任務や役割分担に対する認識度を表し、自らが責任をもって物事を最後まで投げ出さない姿勢を意味します。職務や役割に対する責任感と言い換えられます。この傾向が高い場合は、
 ▼見込みがないことでも、気持ちの切り替えができず、新しい事に控えめになる
 ▼思い入れが強い分、うまくいかない時は、他罰的になる必要以上に自分に責任を感じてしまう
 といった行動になりがちです。何でも引き受けてしまうと、逆に身動きがとれなくなります。分担すべきところは分担するなど割り切る姿勢も必要です。真剣な一生懸命さはいいのですが、時には息抜きも必要です。

●「社会的自我確立」について
 社会的自我確立とは、今の自分のおかれた環境や現実に対する自己の内面的な満足度を表しています。本来思っている自分のあるべき姿と現状に差があるときなどにこの指数は下がります。この傾向が高い場合は
 ▼自分の生き方や方向性に自信を持っているために、状況の変化や周囲が見えなくなることもある
 ▼仮に間違った方向に進んでしまっても、気づかないことがある
 といったことが考えられます。自分に自信をもって、「今」が望ましいと思うあまり、硬直した状態にならないよう、時には自分の生き方や方向性について、もう一度、時間をかけて考えてみることも必要です。

3 心理イメージ

■心理イメージをイラストであらわすと

がんばり屋の性格 → 角張った顔
 他人の忠告を適度に聞き入れる → まっすぐな眉
 状況によって指示的行動 → 普通の眉
 ヤル気あふれている → 大きな瞳
 新しいことをとりいれたい → 目尻が上がっている

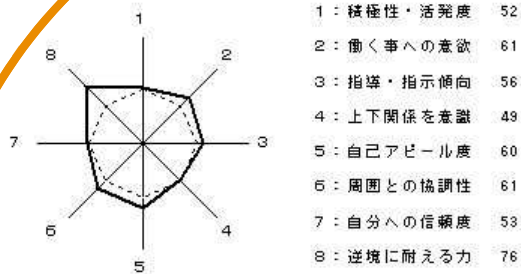


弱みに対する具体的なアドバイスも記述されています。

自己分析シート 本人フィードバック用2/2

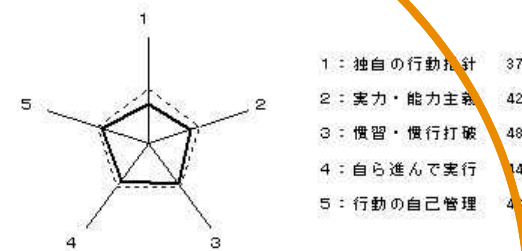
4 仕事場面での対応力

■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



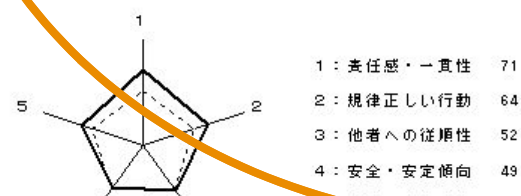
どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子が見えます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようで、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画などにも気を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後のますますの健闘を期待します。

■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



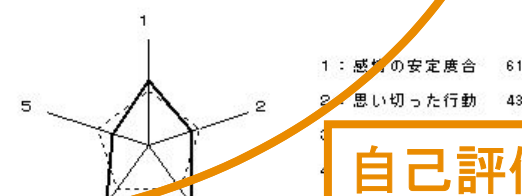
自分の力を信じて先へ進むよりも、周囲に合わせて穏やかに過ごしたい思いのほうが強いようです。ただし、単なる仲良し集団で終わってしまうのではなく、自分らしさを発揮したいならば、前になることや興味のあることを追求していくべきです。ときには、周囲の思惑やなれ合い的な態度に背を向けてみるのもいいでしょう。

■力ばかり強く最後までやろうとする傾向



責任感が強く、やると決めたことは最後まで面倒を見ようという姿勢が見えます。周囲の出来事に振り回されることもなく、目的を見失うことはありません。精神面での強さが感じられますので、役割や業務に対する認識を強めていくことで、周囲からも頼りにされる存在となっていくことと思われます。

■強い意志を持ち前に進もうとする傾向



たとえトラブルが生じて、落ち着いて解決したことは迷わずに突き進んでいくはずな行動があるかもしれませんが、確かな対処をすることができるでしょう。することで、より信頼される存在となるでしょう。

自分の強み弱みを把握できます。

5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較



■ヤル気の出発度について

積極的に仕事を進める能力があり、自分でも自信を持って取り組んでいる様子が見えます。どんなことでも、自分で自分をきちんと評価していなければ、本来の力は発揮できません。あなたの行動の結果は、周囲も評価していることと思われます。目的を見失わず、ますます前進していくことを期待します。ただし、周囲とのバランスには注意したほうがよさそうです。自分の求められている役割や仕事内容について再確認し、一人の考えで突っ走ってしまうことのないように気をつけて下さい。

■管理・対人能力について

周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割をこなす上では、自分の力を信じていることが重要です。的確な判断力、いざというときに動機づけられる力、必要に応じて周囲を巻き込む力、これらは自己評価

自己評価とCUBICの評価を比較しどれだけの差があるか、過剰評価や過小評価の問題点も含めアドバイスを提示しています。

このことを突き詰めて考えてみると、そこから新しい突破口が見いだせます。